

えんだより

2020年
11月号



NO. 176
シャローム三育保育園

今月の園だよりには、各クラス10月に行った「ちびっこ運動会」の事が載せられています。夏祭りに続き、運動会も園児だけの開催となりましたが、子どもたちで考えた「みんなで楽しめるプログラム」で楽しい時間を過ごすことが出来たようです。これまでは自粛ばかりでしたが、安全を確保しつつ思い出に残る楽しい園生活を送ることができるように考えていきたいと思います。

園長 村上 渉



* 掲示板練習メッセージ 11月1日頃配信いたします
* 避難訓練の様子も配信いたしますのでご覧ください。

今月の予定

日	月	火	水	木	金	土
1	2 礼拝	3 文化の日	4	5 英語教室 (3.4.5 歳児)	6 保育参観 (3 歳児)	7
8	9 礼拝	10 体操教室	11 避難訓練	12 英語教室 (3.4.5 歳児)	13 保育参観 (4 歳児)	14
15	16 礼拝 クッキング (3.4.5 歳児)	17 体操教室	18	19 英語教室 (3.4.5 歳児)	20 保育参観 (5 歳児)	21
22	23 勤労感謝の日	24 体操教室	25 誕生会	26 歯科健診	27 保育園職員会	28
29	30 礼拝					



～毎年11月は「児童虐待防止推進月間」です。～

♡愛の鞭ゼロ作戦♡

- ①子育てに体罰や暴言を使わない
- ②子どもが親に恐怖を持つとSOSを伝えられない
- ③爆発寸前のイライラをクールダウン
- ④親自身がSOSを出そう
- ⑤子どもの気持ちと行動を分けて考え、育ちを応援

◇子育て悩みがあるときは児童相談所全国共通ダイヤル「189」まで。
(厚生労働省健やか親子21より)

子どもを健やかに育てるために
～愛の鞭ゼロ作戦～

子育てをしていると、子どもが言うことを聞いてくれなくて、イライラすることもあります。つい、叩いたり怒鳴ったりしたくなることもありますよね。一見、体罰や暴言には効果があるように見えますが、恐怖により子どもをコントロールしているだけで、なぜか叱られたのか子どもが理解できていないこともあります。最初は「愛の鞭」のつもりでも、いつの間にか「虐待」へとエスカレートしてしまうこともあります。体罰や暴言による「愛の鞭」は捨ててしましましょう。そして、子どもの気持ちに寄り添いながら、みんなで前向きに育んでいきましょう。

「しつけの基本は対話から」

将来、どんな大人になるのか。期待でもあり、一番の心配事ですね。子どもに最低限のルールは身に付けてほしい。親として、愛すればこそつい厳しくなってしまうこともあると思います。ただ成長するにつれ一人の人間としての人格が芽生えてくれば、親子といえども価値観や思いのすれ違いからぶつかり合う事も当然あります。相手の思いも受け止めながら、伝えたい事を分かってもらうためには「対話」が必要です。普段からの何気ないおしゃべりを大切に、お子さんの話をたくさん聞いてあげてください。きっとお互いのイライラも少なくなります。

園長

